

2012年9月25日

昭和電線ホールディングス株式会社
(コード番号 5805)

2012年度 昭和電線グループCSR報告書 発刊

昭和電線ホールディングス株式会社（取締役社長 相原雅憲）は、2011年度の昭和電線グループのCSR活動報告および今後の取組みを「CSR報告書2012」として取りまとめました。今年度はISO26000を意識し、7つの中核主題に沿った構成に変えました。

新たに「気候変動への緩和及び気候変動への適応」や「環境保護、生物多様性及び自然生息地の回復」などの項目を増やしました。また、中期経営計画「GROWTH 2014」の説明、第5次ボランタリープランの一年目の報告、東日本大震災への対応として昭和電線グループの節電状況の報告など掲載しています。



【主なトピックス】

ISO26000の7つの中核主題に沿って組織統治、人権・労働、公正な事業、消費者、コミュニティー、環境の項目で構成され、第三者意見も掲載しました。主なトピックスは以下の通りです。

1. 組織統治

- ・ コンプライアンス強化の取組みとして独禁法遵守のための講習会や内部監査の実施、海外拠点の情報セキュリティ教育の実施

2. 人権・労働

- ・ 次世代育成支援、メンタルヘルスの充実

3. 環境

- ・ 気候変動への緩和及び気候変動への適応の項目では、省エネルギー事例として製造ラインにおける圧縮空気漏れ対策の実施
- ・ 環境保護、生物多様性及び自然生息地の回復の項目では、植林活動、河川の生態系調査の実施
- ・ 第5次ボランタリープランの達成状況は、エネルギー使用量・化学物質削減など5項目で達成した。資源の有効活用のうち製造拠点でのゼロエミッションについては、震災以降の生産量の落ち込みにより1拠点のみ目標未達成

2011年度の環境会計は、「銅の回収、再資源により得られた収入額」が増加し、経済効果は前年度より61百万円改善し3,106百万円となりました。

| グループ全体 (単位:百万円) | 2011年度 | | 2010年度 | |
|--------------------|--------|-----|--------|-----|
| | 投資額 | 費用 | 投資額 | 費用 |
| 環境保全コスト | 345 | 716 | 285 | 687 |
| 経済効果 | 3,106 | | 3,045 | |

以上

この件に関するお問合せは、下記宛にお願いします。

経営企画部 IR・広報グループ 03-5532-1911